

中央防災会議
「首都直下地震避難対策等専門調査会」
(第6回)

市区町村等へのアンケート調査票

目次

(ページ番号)

帰宅困難者対策に係る現況把握調査	・・・帰宅困難 - 1～19
避難者対策に係る現況把握調査	・・・避難 - 1～27
避難者対策に係る現況把握調査(都県向け)	・・・避難(都県) - 1～3

平成19年5月23日
内閣府(防災担当)

帰宅困難者対策に係る現況把握調査

用語の定義及び回答に際しての留意事項

大地震が発生すると、鉄道など公共交通機関が停止し、また道路も被災等により通行困難となることが考えられます。企業や学校に通う人々或いは買い物客などの自宅を離れている人々は、外出先に取り残され、自宅へは徒歩しか帰宅手段が無くなることが予想されます。このような人々について、それぞれ次のように定義します。

帰宅断念者：自宅が遠距離にある等の理由により、徒歩で帰宅することをあきらめ、被災場所周辺に滞留する人

遠距離徒歩帰宅者：遠距離にある自宅を目指して被災直後から徒歩で帰宅しようとする人

帰宅困難者：上記の帰宅断念者と遠距離徒歩帰宅者を合わせたもの

なお、下記についてご留意下さい。

- ・以降の照会事項の回答に際しては、大規模な直下地震が発生し、首都圏全域で交通機関が機能停止した状況を想定してください。
- ・各設問に関して、既存資料で詳細な情報〔避難所毎の収容人数、具体の協定内容・計画内容など〕が分かるものがあれば、できるだけ添付して下さい。
- ・詳細資料を添付して頂く際には、どの設問に対応する資料かがわかるよう、例えば「4.の に関する資料」と明記して下さい。また、出典（図書名、作成主体、作成日時等）がわかるよう、出典名の明記あるいは資料の表紙の添付等もお願いいたします。

1 . 帰宅困難者に関する基本的事項について

(1) 帰宅困難者に対する基本的な認識

帰宅困難者の発生に関して、貴市区町村内で、次のような事象が発生するとお考えですか。それぞれの事象について1～4のうち該当するものを**1つ**選び、回答欄に番号を入力してください。

					回答欄
自市区町村内にある企業や学校から、帰宅困難者が	1. 相当数 発生する	2. 少数 発生する	3. ほとんど 又は全く 発生しない	4. わからない	
自市区町村に来た買い物客等から、帰宅困難者が	1. 相当数 発生する	2. 少数 発生する	3. ほとんど 又は全く 発生しない	4. わからない	
自市区町村の中を、遠距離徒歩帰宅者が	1. 相当数 通過する	2. 少数 通過する	3. ほとんど 又は全く 通過しない	4. わからない	

上記において、「相当数」とは、何らかの特別な対策を取らないと、混乱が発生するなど問題が生じるおそれがあるもの、「少数」とは、帰宅困難者は発生するものの、特段の問題を生ずるまでには至らない程度であるものとします。

(2) 帰宅困難者に関する懸念

帰宅困難者の発生により、様々な問題が起こる可能性があります。次のような各事象について、貴市区町村ではどのように捉えていますか。それぞれの事象について1～4のうち該当するものを1つ選び、回答欄に番号を入力してください。

選択肢	1.起こる可能性 が大いにある	2.起こる可能性 がある	3.起こる可能性 は低い、また はない	4.わからない
-----	--------------------	-----------------	---------------------------	---------

	回答欄
帰宅困難者のための水の確保が困難	
帰宅困難者のための食料の確保が困難	
帰宅困難者のためのトイレの確保が困難	
帰宅困難者のための滞在場所の確保が困難	
帰宅困難者を救護する体制の確保が困難	
路上の危険物や火災に囲まれる等により、徒歩帰宅者の中に怪我人が発生する	
多数の帰宅困難者等が、路上に滞留する等により、災害応急活動等に支障が生じる	
多数の徒歩帰宅者が通過し車道にあふれ出す等により、災害応急活動等に支障が生じる	
駅前等に多数の帰宅困難者等が集中し、パニック等の混乱が発生する	
地域の指定避難所に帰宅困難者が来ることにより、スペースや食料等の不足など、運営が混乱する	
その他の問題 〔 〕	

(3) 帰宅困難者に関する対策

ア 対策の実施状況

帰宅困難者に対して、貴市区町村では何らかの事前対策を考えているでしょうか。考えられる次のような対策のそれぞれの実施状況について、1~4のうち該当するものを1つ選び回答欄に番号を入力してください。

選択肢	1.実施している	2.実施を検討している	3.検討したが実施の予定なし	4.検討していない
-----	----------	-------------	----------------	-----------

	回答欄
家族等の安否確認ができない人があわてて帰宅することを抑制するため、災害用伝言ダイヤル等（災害用ブロードバンド伝言板、携帯電話の災害用伝言板サービス含む）の安否確認手段の周知	
一斉に徒歩帰宅をすることによって混乱が起こることを防ぐため、「むやみに移動を開始しない」ことを住民や学校、企業等へ周知	
“帰宅困難者心得 カ条”のような、帰宅困難者のための心得の周知	
学校や企業にしばらく留まることを可能にするために、帰宅断念者用に水や食料の備蓄を推奨	
ホール等の公共施設や学校（高校や国公立大学等）を帰宅断念者の一時収容用に確保	
民間施設の大規模集客施設等を帰宅断念者の一時収容に利用するための協定等の締結	
幹線道路沿い等の避難所（市区町村が設置する小中学校体育館等の屋内避難所）に、遠距離徒歩帰宅者用の水やトイレ等を準備	
遠距離徒歩帰宅者が通る幹線道路沿い等の市区町村施設において、水やトイレ等を提供	
遠距離徒歩帰宅者に対する沿道等での支援について、民間事業者やボランティア団体等と協定等を締結	
駅や路上等での帰宅困難者に資する情報（被災情報、交通情報、休息場所情報など）提供。	
駅周辺での混乱防止のため、誘導計画策定や協議会の設立等の準備	
平時の防災訓練で、帰宅困難者も想定した訓練の実施	
帰宅困難者のうち、特に高齢者、障害者、外国人、乳幼児等の要援護者に対して何らかの支援を準備	
帰宅断念者を災害対応のボランティアとして活用する方策を準備	
民間事業者との帰宅困難者支援に係る物資支援協定等を締結	

上記対策に関しては、9~17 ページにおいて、関連した追加質問がありますので、そちらへのご回答もお願いします。

イ その他の施策

帰宅困難者に係る対策について、アで挙げた対策以外に行っている又は検討していることがあれば、下記にその具体的内容をお書きください。

具体的内容

--

ウ 各対策の地域防災計画上の位置づけ

前問アの各対策について、貴市区町村の地域防災計画に記載されているでしょうか。各対策について該当するものを1つ選び回答欄に番号を入力してください。

選択肢	1.地域防災計画に位置づけている (記載している)	2.地域防災計画には記載していない
------------	------------------------------	-------------------

	回答欄
家族等の安否確認ができない人があわてて帰宅することを抑制するため、災害用伝言ダイヤル等(災害用ブロードバンド伝言板、携帯電話の災害用伝言板サービス含む)の安否確認手段の周知	
一斉に徒歩帰宅をすることによって混乱が起こることを防ぐため、「むやみに移動を開始しない」ことを住民や学校、企業等へ周知	
“帰宅困難者心得 カ条”のような、帰宅困難者のための心得の周知	
学校や企業にしばらく留まることを可能にするために、帰宅断念者に水や食料の備蓄を推奨	
ホール等の公共施設や学校(高校や国公立大学等)を帰宅断念者の一時収容用に確保	
民間施設の大規模集客施設等を帰宅断念者の一時収容に利用するための協定等の締結	
幹線道路沿い等の避難所(市区町村が設置する小中学校体育館等の屋内避難所)に、遠距離徒歩帰宅者用の水やトイレ等を準備	
遠距離徒歩帰宅者が通る幹線道路沿い等の市区町村施設において、水やトイレ等を提供	
遠距離徒歩帰宅者に対する沿道等での支援について、民間事業者やボランティア団体等と協定等を締結	
駅や路上等での帰宅困難者に資する情報(被災情報、交通情報、休息場所情報など)提供。	
駅周辺での混乱防止のため、誘導計画策定や協議会の設立等の準備	
平時の防災訓練で、帰宅困難者も想定した訓練の実施	
帰宅困難者のうち、特に高齢者、障害者、外国人、乳幼児等の要援護者に対して何らかの支援を準備	
帰宅断念者を災害対応のボランティアとして活用する方策を準備	
民間事業者との帰宅困難者支援に係る物資支援協定等を締結	
その他 []	

2. 避難所等との関係について

帰宅困難者が、市区町村が設置する避難所に集まってくることも予想されますが、その場合に貴市区町村がとる予定の対応について、該当する番号を回答欄に記入して下さい。

(1) 避難所の利用 (該当する番号1つを記入)

回答欄

1. 避難所に、地域の避難者と同様に滞在することを認める
2. 避難所に、一時休息で立ち寄る程度なら認める
3. 避難所に、地域外の人が入ることは認めない
4. 避難所における帰宅困難者への対応は未定である
5. その他

()

(2) 避難所でのなんらかの便宜の提供 (滞在場所の提供以外)

(該当する番号1つを記入)

回答欄

1. 帰宅困難者に対して、なんらかの便宜を提供(ただし滞在場所の提供以外)する予定である
2. 帰宅困難者等に対して、便宜の提供の予定はない

(3) 前問(2)(便宜の提供)で1.とお答えの場合

(該当するものを全てに をつけて下さい)

	回答欄
1. 水の提供	
2. 食料の提供	
3. トイレの提供	
4. 帰宅路の被災状況など帰宅に資する情報の提供	
5. 負傷者の簡単な手当	
6. その他	
()	

(4) 避難所の管理運営マニュアルに、帰宅困難者が来訪した場合の具体的対応方法が記載されていますか (当てはまるもの1つに)

回答欄

1. 記載されている ()
 2. 記載されていないが、検討または作成中
 3. 記載する予定はない
- マニュアル等を添付してください

3 . 帰宅困難者問題に関する課題等、工夫

帰宅困難者問題にあたり、心配ごとや現状での課題等がございましたら、ご記入下さい。他の市区町村の参考となるよう、何か工夫がございましたら、併せてご記入下さい。

また、関連文書等があれば、添付してください。

< 課題等 >

< 工夫 >

4 . 帰宅困難者対策に関する追加質問

p4 の「 1.(3)帰宅困難者への対策 ア 対策の実施状況」の設問で、一つ以上の項目について「1.実施している」または「2.実施を検討している」と回答された場合は、以下の該当する項目に関する各質問についてご回答をお願いします。

家族等の安否確認ができない人があわてて帰宅することを抑制するため、災害用伝言ダイヤル等（災害用プロードバンド伝言板、携帯電話の災害用伝言板サービス含む）の安否確認手段の周知

問. 周知の手段として、どのような媒体等を使用しましたか / 使うことを考えていますか。当てはまるもの全てに をつけて下さい。

	回答欄
1. 市区町村の広報誌 ()	
2. パンフレット、チラシ ()	
3. 市区町村のホームページ	
4. 防災訓練の場	
5. 市民向け講演会 (どのような講演会かご記入下さい) ()	
6. 企業・学校向け説明会 (どのような説明会かご記入下さい) ()	
7 その他 ()	

(1.または2.とお答えの場合、見本を添付してください。)

一斉に徒歩帰宅をすることによって混乱が起こることを防ぐため、「むやみに移動を開始しない」ことを住民や学校、企業等へ周知

問. 周知の手段として、どのような媒体等を使用しましたか/使うことを考えていますか。当てはまるもの全てに をつけて下さい。(1.または 2.とお答えの場合、見本を添付してください。)

	回答欄
1. 市区町村の広報誌 ()	
2. パンフレット、チラシ ()	
3. 市区町村のホームページ	
4. 防災訓練の場	
5. 市民向け講演会 (どのような講演会かご記入下さい) { }	
6. 企業・学校向け説明会 (どのような説明会かご記入下さい) { }	
7. その他 { }	

“帰宅困難者心得 カ条”のような、帰宅困難者のための心得の周知

問. 周知の手段として、どのような媒体等を使用しましたか/使うことを考えていますか。当てはまるもの全てに をつけて下さい。(1.または 2.とお答えの場合、見本を添付してください。)

	回答欄
1. 市区町村の広報誌 ()	
2. パンフレット、チラシ ()	
3. 市区町村のホームページ	
4. 防災訓練の場	
5. 市民向け講演会 (どのような講演会かご記入下さい) { }	
6. 企業・学校向け説明会 (どのような説明会かご記入下さい) { }	
7. その他 { }	

学校や企業にしばらく留まることを可能にするために、帰宅断念者用に水や食料の備蓄を推奨

問 具体的に何をどのような方法で推奨されていますか。

[]

ホール等の公共施設や学校（高校や国公立大学等）を帰宅断念者の一時収容用に確保

問 1 施設名を列挙してください。ただし、同種の施設が多数ある場合には、「都立高校 3校」のように、施設種別と施設数を記入頂くのでも構いません。

[]

問 2 協定等を結んでいる場合、協定等の内容が分かるもの（協定書の写し等）を添付してください。

民間施設の大規模集客施設等を帰宅断念者の一時収容に利用するための協定等の締結

問 1 施設名を全て列挙してください。

[]

問 2 一時収容施設の利用期間、収容時の管理体制、費用負担、施設の器物破損時の対応等はどのようなものになっていますか。

記入例：

- ・ 施設については、市から施設への要請時から最大 1 週間利用可能することとしている。管理は各施設の職員が行うことを想定している。この間に発生した の費用については、市が負担する。施設の器物破損があった場合は、市が実費弁済（ただし、上限 万円でそれ以上は個別協議）としている。

問 3 協定等を結んでいる場合、協定等の内容が分かるもの（協定書の写し等）を添付してください。

幹線道路沿い等の避難所（市区町村が設置する小中学校体育館等の屋内避難所）に、遠距離徒歩帰宅者用の水やトイレ等を準備

問 どのような避難所を対象としていますか。

- 例：
- ・ 幹線道路沿い全て
 - ・ 幹線道路沿い以外も含め全て
 - ・ ターミナル駅周辺のみ

遠距離徒歩帰宅者が通る幹線道路沿い等の市区町村施設において、水やトイレ等を提供

問 施設名を全て列挙してください。ただし、同種の施設が多数ある場合には、「都立高校 3校」のように、施設種別と施設数を記入頂くのでも構いません。

[]

遠距離徒歩帰宅者に対する沿道等での支援について、民間事業者やボランティア団体等と協定等を締結

問 1. どのようなことを実施予定ですか。

	回答欄
1. 水の提供	
2. 食料の提供	
3. トイレの提供	
4. 帰宅路の被災状況など帰宅に資する情報の提供	
5. 負傷者の簡単な手当	
6. その他 []	

問 2. どの程度の期間、支援を実施する予定ですか。

[]

問 3. 協定等の内容が分かるもの（協定書の写し等）を添付してください。

駅や路上等での帰宅困難者に資する情報（被災情報、交通情報、休息場所情報など）提供

問 1. どのような情報を流す予定ですか。当てはまるもの**全て**に をつけて下さい。

	回答欄
1. 「むやみに移動を開始しないで下さい」など移動を思いとどまらせる呼びかけ	
2. 「 公園で休息をとることができます」など、帰宅困難者が近辺で利用可能な支援に関する情報	
3. 「帰宅するときには に気を付けて下さい」といった帰宅する際の注意事項	
4. 「帰宅には 道路を使って下さい」など帰宅路の選択に係る呼びかけ	
5. 鉄道等公共交通機関の運行等の状況に関する情報	
6. 道路の被災状況や火災情報など帰宅路の状況に関する情報	
7. 帰宅途中で利用できる支援場所等に係る情報	
8. 内容については特に定めていない	
9. その他 〔 〕	

問 2. 問 1.で答えた情報の周知について、どのような手段を使用する予定ですか。当てはまるもの**全て**に をつけて下さい。

	回答欄
1. 防災無線を利用	
2. 広報車を利用	
3. 街頭等で役場の職員等が拡声器等を使って呼びかけ	
4. 役場等で紙での張り出し	
5. 鉄道事業者（駅）へ呼びかけを依頼	
6. 百貨店など大規模集客施設へ呼びかけを依頼	
7. 学校へ呼びかけを依頼	
8. 企業等へ呼びかけを依頼	
9. 地域コミュニティ（自治会や自主防災組織等）へ呼びかけを依頼	
10. 役所等のホームページを利用	
11. どのような手段を用いるか定めていない	
12. その他 〔 〕	

駅周辺での混乱防止のため、誘導計画策定や協議会の設立等の準備

問1. どのような対策を準備しているか / 準備しようとしているかお書き下さい。

()

問2. 駅周辺での混乱防止のために、鉄道事業者や駅周辺事業者、行政などで行く協議会等がありますか。

回答欄

1. ある (駅名を列挙して下さい)

()

2. ない

問3. 問2で1.(ある)とお答えの場合、その構成メンバーを駅ごとに**全て**列挙して下さい。ただし、駅周辺の多数の小売業者が入っている場合は、駅周辺小売業者 社と答える等して頂いて構いません。

記入例：

駅： 協議会 (鉄道事業者、商店会、町内会)

駅： 会 (鉄道事業者、行政、駅周辺小売業者×社)

()

平時の防災訓練で、帰宅困難者も想定した訓練の実施

問 帰宅困難者について、どのような内容の訓練でしたか。訓練実施に関する具体的な関係資料等があれば添付して下さい。

記入例：

- ・隣接の 区と連携しての情報交換及び徒歩帰宅者への伝達
- ・徒歩帰宅者の支援場所の立ち上げ
- ・駅周辺の滞留者の一時休憩施設への誘導
- ・都心から徒歩帰宅を体験した

帰宅断念者のうち、特に高齢者、障害者、外国人、乳幼児等の要援護者に対して何らかの支援を準備

問 具体的な支援策をお書き下さい。

記入例：

- ・外国人に対する情報伝達のため、通訳者を用意
- ・障害者に対する代替交通手段の提供

帰宅困難者を災害対応のボランティアとして活用する方策を準備

問 1. 具体的な方策をお書き下さい。

- 記入例：
- ・ボランティアの受付窓口を開設
 - ・ボランティアを統率するリーダーを養成
 - ・企業やNPO等とボランティア提供や活用について協定を締結

問 2. 協定や計画等がある場合、その内容が分かるもの（計画書や協定書の写し等）を添付してください。

民間事業者との帰宅困難者支援に係る物資支援協定等を締結

問 1. どのような物資について、どのような事業者等と支援協定等を締結していますか。

- 記入例：
- ・ 社：飲料水 本
 - ・ 社：簡易トイレ 基

問 2. 協定等を結んでいる場合、協定等の内容が分かるもの（協定書の写し等）を添付してください。

5 . 帰宅困難者対策についての意見・要望等

首都直下地震時における帰宅困難者対策等について意見・要望等がございましたらご記入下さい。また、貴市区町村で、帰宅困難者対策でユニークな取り組みを実践されている学校、企業、団体などをご存知でしたら、ご教示ください。

最後に、貴市区町村名、回答部署名等連絡先についてご記入下さい。

都県名	都・県
市区町村名	市・区・町・村
担当者の 部署名	
担当者の 役職名	
担当者名	
電話番号	
FAX 番号	
メール アドレス	

ご協力ありがとうございました。

避難者対策に係る現況把握調査

以下の点についてご留意の上ご回答下さい。

- ・既存資料で詳細な情報〔避難所毎の収容人数、具体の協定内容・計画内容など〕が分かるものがあれば、できるだけ添付して下さい。
- ・詳細資料を添付して頂く際には、どの設問に対応する資料かがわかるよう、例えば「3.の に関する資料」と明記して下さい。また、出典（図書名、作成主体、作成日時等）がわかるよう、出典名の明記あるいは資料の表紙の添付等もお願いいたします。

（1）市区町村が指定する避難所について

（1）避難所の収容能力等について

各市区町村で指定している避難所について、市区町村合計の最新値を教えてください。

（留意点）

今回の調査は地震を対象としたものですので、地震対策用の避難所についてご回答下さい。

避難所とは、小中学校体育館等の屋内の避難所のことであり、広域避難場所等の屋外避難場所のことではありませんのでご注意ください。

（定義）避難所の区分

地域防災計画等において、まずは市区町村立の小中学校を指定避難所と位置付け、それで不足する場合に、都県立学校等公共施設や協定を結んだ民間施設を開設することとなっているところが多いと考えられます。また、災害時要援護者に対しては別に社会福祉施設等を二次避難所（福祉避難所）として指定しているところが多く、本調査では、次表のような避難所区分により避難所の収容能力等を把握したいと考えております。

表 本調査における避難所区分の定義

避難所の区分	内容
一次避難所	一般被災者の避難所 市区町村立小中学校等、まずは優先的に収容する避難所 及び 都県立学校等公共施設あるいは民間施設等、で収容しきれなかった場合の避難所〔避難所活用について協定等を締結〕
二次避難所（福祉避難所）	社会福祉施設等、災害時要援護者のための避難所

指定避難所数

指定避難所数をご記入下さい。

指定避難所数 (市区町村合計値)	一次避難所	(箇所)
	二次避難所	(箇所)

避難所面積(m²)

1) 避難所に指定した建物の延床面積

避難所に指定した建物の延床面積をご記入下さい。(もし、例えば、校舎の一部を避難所に指定している場合は、校舎全体の延床面積ではなく、校舎のうち避難スペースに指定している区画の延床面積をご記入下さい。)

避難所建物延床面積 (市区町村合計値)	一次避難所	(m ²)
	二次避難所	(m ²)

2) 避難者を収容可能な部分の延床面積

1)の避難所に指定した建物の延床面積のうち、階段や玄関等を除き、実質的に避難者を収容可能な部分の延床面積をご記入下さい。体育館や一部教室等、地域防災計画等の避難計画での避難所指定の考え方に沿って、できるだけ最新データとして下さい。

避難者収容延床面積 (市区町村合計値)	一次避難所	(m ²)
	二次避難所	(m ²)

避難者収容可能人数(人)

貴市区町村として避難者収容の前提としている予定収容人員をご記入下さい。

避難者収容可能人数 (市区町村合計値)	一次避難所	(人)
	二次避難所	(人)

避難所の収容基準

上記 の収容可能人数の算出根拠となる避難所収容基準を教えてください。

避難所 収容基準	一次 避難所	(例)避難者収容可能面積に対して 3.3 m ² 当たり 2 人収容
	二次 避難所	

耐震化状況

避難所の耐震化状況について、以下の点にご留意の上、ご回答下さい。

- ・耐震基準の区分は以下のとおり表記しています。

旧耐震基準の建物：昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築確認を受けて建築された建物

新耐震基準の建物：昭和 56 年 6 月 1 日以降に建築確認を受けて建築された建物

- ・一つの避難所において複数の施設がある場合（例えば、体育館と、校舎の一部教室が避難所として指定されている場合）、それぞれカウントして下さい。
- ・なお、例えば、建物の半分だけ耐震改修・補強しているという場合は、その建物は「耐震改修・補強していない」として考慮して下さい。

〈一次避難所〉

旧耐震基準の 避難所	耐震診断未実施（耐震性不明を含む）	棟
	耐震性がなく未改修のもの	棟
	耐震性あり（改修済みを含む）	棟
新耐震基準の避難所		棟
合計（＝一次避難所の施設数総計）		棟

〈二次避難所〉

旧耐震基準の 避難所	耐震診断未実施（耐震性不明を含む）	棟
	耐震性がなく未改修のもの	棟
	耐震性あり（改修済みを含む）	棟
新耐震基準の避難所		棟
合計（＝二次避難所の施設数総計）		棟

自家発電装置の整備状況

避難所に設置（備蓄）または被災直後に取寄せ可能な「自家発電機または蓄電装置」の整備状況について、該当するものを **1つ** 選び、回答欄に番号をご記入下さい。

回答欄

1. 全ての避難所に整備
2. 半数以上の避難所に整備
3. 一部（半数未満）の避難所に整備
4. 現時点ではほとんど整備できていない

→（上記で 1.～3. に回答の場合、さらに次もお答え下さい。）

自家発電装置等を整備している避難所における平均発電時間について、「発電可能時間の合計÷自家発電装置等整備済みの避難所数」の考え方により、自家発電装置等整備済み避難所における1箇所当たりの平均発電可能時間についてご記入下さい。まったく不明の場合は「不明」とご記入下さい。

平均的に概ね()時間可

食料の備蓄

避難所用に備蓄している食料(主食分)の分量を教えてください。

主食備蓄量(市区町村合計値)	(食)
----------------	-----

飲料水の備蓄

災害発生時に飲料用として利用可能な緊急貯水槽等の耐震性貯水槽による飲料水備蓄量及び避難所用に備蓄しているペットボトル等の飲料水の分量を教えてください。また、浄水器等の整備状況について教えてください。

耐震性貯水槽による飲料水備蓄量(市区町村合計値)	(m ³)
ペットボトル等避難所用備蓄量(市区町村合計値)	()
飲料水確保のための浄水器、濾水器などを用意していますか。用意が整っている避難所(一次避難所、二次避難所含む)は何箇所ですか。	(箇所)

(なお、1m³ = 1,000)

既設トイレの活用

校舎等にある既設トイレは災害時に断水等により使用できなくなる可能性が高く、このためプールの水などを活用するなどの工夫が必要となりますが、このような発災時の既設トイレの課題とその解決方法について考えていますか。該当するものを1つ選び、回答欄に番号をご記入下さい。

回答欄

1. 具体的に考えている
2. 今後具体的に検討する予定
3. 考えていない

既設トイレ以外のトイレの整備

校舎等にある既設トイレ以外に非常用のものを備蓄あるいは調達を予定している場合は、その分量を教えてください。

バキュームカー等による汲み取り・回収が必要となる、し尿貯留型で屋外等に設置する仮設トイレ・組立てトイレ等	(市区町村合計値) (基)
室内に設置可能な小型で持ち運びのできるトイレで、し尿貯留型の簡易トイレ(介護等で使用されているポータブルトイレ含む)	(市区町村合計値) (基)
下水道を活用したマンホール対応型トイレ等	(市区町村合計値) (基)
既設トイレの便座等に便袋を設置し、し尿をパックするタイプの携帯トイレ	(市区町村合計値) (枚)
その他	(市区町村合計値) (基)

大規模地震時に想定される避難所開設期間

大規模な直下地震により貴市区町村の周辺地域で震度6強以上の揺れが発生した場合、相当の避難者が発生すると予想されますが、貴市区町村における避難所の開設期間は、最大で何日間程度と想定されると思いますか。

最大約()日間

(2) 避難者収容の可能性

実際の震災時において、全体として、避難を希望する人々を避難所収容計画どおりに収容することが可能だと思いますか。該当するものを1つ選び、回答欄に番号をご記入下さい。なお、ここでは、避難所収容の対象者を「当該市区町村の住民のみ」とした場合とします。

回答欄

1. 計画した人数を超えなければ避難所に収容できると思う(超えると収容できない)。
2. 計画した人数を多少超えても避難所に収容できると思う。
3. 計画した人数であっても、実際には計画どおりに収容できない可能性がある。

→ (「3. 計画した人数であっても、実際には計画どおりに収容できない可能性がある。」と回答された場合、その具体的なケースや理由等について記述して下さい。)

(例) 避難者収容可能面積に対して 3.3 m²当たり 2 人で避難者収容可能人数を算出しているものの、避難者が持ち込む家財なども考えられ、当初見込んでいた施設面積の全てを避難スペースとして活用できるとは限らないため。

(3) プライバシーの確保

体育館等に収容した避難者について、プライバシー確保のために何らかの対策を考えていますか。該当するものを 1 つ選び、回答欄に番号をご記入下さい。

回答欄	
-----	--

1. 具体的な対策を予定している。
2. 現在検討中である。
3. 現時点では特に考えていない。

→ (「1.具体的な対策を予定している。」と回答された場合、その具体的な内容について記述して下さい。)

(例) 段ボール製の簡易ついたてを備蓄している。

(4) 避難所の運営

避難所の運営方法について、どのように計画されていますか。該当するものを 1 つ選び、回答欄に番号をご記入下さい。

回答欄	
-----	--

1. 開設、管理・運営は行政職員あるいは教職員等が主導して行う。(住民やボランティアは支援でしかない。)
2. 開設は行政職員あるいは教職員等が行うが、以降の管理・運営は地域住民が主体的に行うようになっている。
3. (鍵も地域に貸与してあり)開設からすべて地域住民が主体的に行うことになっている。
4. その他

(具 体 的 に)

)

(5) 避難者の名簿の作成等

避難者名簿の作成

避難所に収容された避難者の名簿作成について、何らかの準備がされているでしょうか。該当するものを1つ選び、回答欄に番号をご記入下さい。

回答欄	
-----	--

1. 具体的な準備を行っている。
2. 現在検討中である。
3. 現時点では特に考えていない。

→ (「1.具体的な準備を行っている。」と回答された場合、その具体的な内容について記述して下さい。)

(例) 普段から名簿記入用紙(名前、年齢、平時の住所及び電話番号を記入)を用意するとともに、避難所運営マニュアルの中にも、これを記入の上で避難所内に入ってもらう旨等記載している。

避難者の照会への対応

家族と離れ離れとなった人等から、避難所に収容された避難者等に関する問い合わせが多く発生すると考えられるが、こうした外部からの照会への対応体制について、何らかの準備がされているでしょうか。該当するものを1つ選び、回答欄に番号をご記入下さい。

回答欄	
-----	--

1. 具体的な準備を行っている。
2. 現在検討中である。
3. 現時点では特に考えていない。

→ (「1.具体的な準備を行っている。」と回答された場合、その具体的な内容について記述して下さい。)

(例) 避難所で作成した避難者名簿の写しは市役所の係に送られ、避難者の照会はこの係が一括して行うこととなっており、照会元が親族であるかどうか等を確認の上回答する旨などを避難所運営マニュアルに記載している。

(6) 一次避難所における障害者への配慮

一次避難所に一時的に避難する視覚障害者、聴覚障害者、身体障害者等障害者に対する対応体制の整備など、何らかの対策を考えていますか。視覚障害者、聴覚障害者、身体障害者のそれぞれについて該当するものを1つずつ選び、回答欄に番号をご記入下さい。

(視覚障害者について)

回答欄	
-----	--

1. 具体的な対策を予定している。
2. 現在検討中である。
3. 現時点では特に考えていない。

→ (「1.具体的な対策を予定している。」と回答された場合、その具体的な内容について記述して下さい。)

(例) 避難所に点字による案内板を設置している。

(聴覚障害者について)

回答欄	
-----	--

1. 具体的な対策を予定している。
2. 現在検討中である。
3. 現時点では特に考えていない。

→ (「1.具体的な対策を予定している。」と回答された場合、その具体的な内容について記述して下さい。)

(例) 手話ボランティアを派遣する体制を整備している。

（身体障害者について）

回答欄	
-----	--

1. 具体的な対策を予定している。
2. 現在検討中である。
3. 現時点では特に考えていない。

→（「1.具体的な対策を予定している。」と回答された場合、その具体的な内容について記述して下さい。）

（例）バリアフリー工事を実施済みである。

（7）一次避難所における高齢者等への配慮

一次避難所に一時的に避難する高齢者、妊婦・乳幼児、外国人等に対する対応体制の整備など、何らかの配慮を考えていますか。高齢者、妊婦・乳幼児、外国人のそれぞれについて該当するものを1つずつ選び、回答欄に番号をご記入下さい。

（高齢者について）

回答欄	
-----	--

1. 具体的な対策を予定している。
2. 現在検討中である。
3. 現時点では特に考えていない。

→（「1.具体的な対策を予定している。」と回答された場合、その具体的な内容について記述して下さい。）

（例）特に要介護者に対しては介護ケアの体制を整備している。

(妊婦・乳幼児について)

回答欄	
-----	--

1. 具体的な対策を予定している。
2. 現在検討中である。
3. 現時点では特に考えていない。

→ (「1.具体的な対策を予定している。」と回答された場合、その具体的な内容について記述して下さい。)

(例) 乳幼児対策として粉ミルクや紙おむつの備蓄をしている。

(外国人について)

回答欄	
-----	--

1. 具体的な対策を予定している。
2. 現在検討中である。
3. 現時点では特に考えていない。

→ (「1.具体的な対策を予定している。」と回答された場合、その具体的な内容について記述して下さい。)

(例) 通訳ボランティアを派遣する体制を整備している。

(8) 避難者収容に関する課題等、工夫

震災時の避難所における避難者収容にあたり、心配ごとや現状での課題等がございましたら、ご記入下さい。他の市区町村の参考となるよう、何か工夫がございましたら、併せてご記入下さい。

(3) ホテル・旅館等の活用

ホテル・旅館や公的宿泊施設、民間の研修所・保養所、宿泊施設のあるゴルフ場等（以下、「ホテル・旅館等」という。）を対象とした避難所等としての活用について、以下の点について教えて下さい。

計画の有無

ホテル・旅館等を避難所等として活用することを計画していますか。各施設について該当するものを **1つずつ** 選び、回答欄に番号をご記入下さい。

	回答欄
ホテル・旅館	
公的宿泊施設	
民間の研修所・保養所	
その他（ゴルフ場等）	

1. 市区町村の地域防災計画で位置付けている。
2. 市区町村の地域防災計画には記載はないが、計画・検討している。
3. 現状では検討していないが、今後検討する予定である。
4. 活用は検討していない（今のところ予定もない）。

【注】 で一つでも 1.あるいは 2 に回答された場合、 ~ についてもお答え下さい。また、で 3.あるいは 4 にのみ回答された場合、(4)以降についてお答え下さい。

ホテル・旅館等との協定

ホテル・旅館等の避難所等としての活用のために、協定を結んだり、調整を行ったりしていますか。各施設について該当するものを **1つずつ** 選び、回答欄に番号をご記入下さい（で 3.あるいは 4 と回答した施設については「 - 」とご記入下さい。）。また、協定を結んでいる場合には、**代表的な協定の内容及びその具体的な仕組み（被災後における避難者収容までの手順等）**が分かる資料のコピーを添付して下さい。

	回答欄
ホテル・旅館	
公的宿泊施設	
民間の研修所・保養所	
その他（ゴルフ場等）	

1. 市区町村でホテル・旅館等（や当該組合等）と既に協定を結んでいる。
2. 市区町村でホテル・旅館等（や当該組合等）と今後協定を結ぶ予定。
3. 協定は結んでいないが、ホテル・旅館等と調整を行っている。
4. 活用について話し合ったが不調である（了承が得られなかった）。
5. 活用について検討しているが、まだホテル・旅館等とは話をしていない。

ホテル・旅館等の利用対象者

ホテル・旅館等を避難所等に活用する場合の避難対象者は誰ですか。各施設について該当するものを全て選び、回答欄に を付けて下さい(で 3. あるいは 4 と回答した施設については「 - 」とご記入下さい)。

《ホテル・旅館について》

	回答欄
1. 高齢者	
2. 障害者	
3. 外国人	
4. 乳幼児及び保護者	
5. その他要援護者(具体的に：)	
6. 一般の被災者(上記の要援護者を除く)	
7. 災害対策活動への従事者(応援者含む)	
8. その他(具体的に：)	

《公的宿泊施設について》

	回答欄
1. 高齢者	
2. 障害者	
3. 外国人	
4. 乳幼児及び保護者	
5. その他要援護者(具体的に：)	
6. 一般の被災者(上記の要援護者を除く)	
7. 災害対策活動への従事者(応援者含む)	
8. その他(具体的に：)	

《民間の研修所・保養所について》

	回答欄
1. 高齢者	
2. 障害者	
3. 外国人	
4. 乳幼児及び保護者	
5. その他要援護者(具体的に：)	
6. 一般の被災者(上記の要援護者を除く)	
7. 災害対策活動への従事者(応援者含む)	
8. その他(具体的に：)	

《その他（ゴルフ場等）について》

	回答欄
1. 高齢者	
2. 障害者	
3. 外国人	
4. 乳幼児及び保護者	
5. その他要援護者（具体的に： ）	
6. 一般の被災者（上記の要援護者を除く）	
7. 災害対策活動への従事者（応援者含む）	
8. その他（具体的に： ）	

収容人数

各施設について現段階でのおおよその収容可能人数を教えてください。発災後に収容可能人数等を把握するケースも多いと思われませんが、現時点で収容可能人数がわからない場合、協定締結ホテル・旅館等への問い合わせ等により、平常時空室数や宴会場面積等からおおよその推計で結構ですのでご回答下さい（ で 3.あるいは 4 と回答した施設については「 - 」とご記入下さい）。

	収容可能人数 (市区町村合計値)	備考
ホテル・旅館	(人)	(例) 市内の 5 ホテルの宴会場・ロビーを活用
公的宿泊施設	(人)	
民間の研修所・保養所	(人)	
その他（ゴルフ場等）	(人)	

*) 「約 百人」といった概数の記入でも結構です。

(4) 野外に設置する天幕・テント等の活用

避難所の収容能力が不足する場合や、被災者が避難所へ避難しない場合等において、野外に設置する天幕・テント等の活用について教えてください。ここでは、自衛隊の天幕等は含みません。

計画の有無

野外に設置する天幕・テント等の活用を市区町村として計画していますか。該当するものを1つ選び、回答欄に番号をご記入下さい。

回答欄	
------------	--

1. 市区町村の地域防災計画で位置付けている。
2. 地域防災計画には記載はないが、計画・検討している。
3. 現状では検討していないが、今後検討する予定である。
4. 野外の受入れ施設の活用は検討していない(今のところ予定もない)。

【注】 で1.あるいは2に回答した場合、 ~ についてもお答え下さい。

で3.あるいは4.に回答した場合、(5)以降についてお答え下さい。

天幕等の活用計画

どのような天幕・テント等の活用を計画していますか。該当するものを全て選び、回答欄に を付けて下さい。

	回答欄
1. 市区町村所有の天幕・テント等	
2. 地域の小中学校などが所有している天幕・テント等	
3. 町内会など地域組織が保有している天幕・テント等	
4. 民間企業が保有している天幕・テント等	
5. 災害支援としてボランティアが持ち込むもの	
6. 災害支援として他市区町村から借り受けるもの	
7. 天幕・テント等を取り扱う事業者から調達	
8. その他()	

天幕・テント等の確保に関する協定

天幕・テント等の確保のために、協定を結んでいますか。該当するものを全て選び、回答欄に を付けて下さい。また、協定を結んでいる場合には、代表的な協定の内容及びその具体的な仕組み(被災後における避難者収容までの手順等)が分かる資料のコピーを添付して下さい。

避難者移送に関する工夫

何か他の市区町村の参考となる工夫がございましたら、併せてご記入下さい。

【工夫の内容】

*) 関連資料があればそのコピーも添付して下さい(その際は、設問との対応、出典名を明記して下さい)。

(6) 応急仮設住宅

首都直下地震時における応急仮設住宅の供給について、以下の点について教えて下さい。

応急仮設住宅の設置用地

応急仮設住宅を設置する用地は確保されていますか。該当するものを1つ選び、回答欄に番号をご記入下さい。

回答欄	
-----	--

1. 事前に候補箇所を選定しており、必要面積が確保できると考えている。
2. 事前に候補箇所を選定しているが、用地の活用方法は様々であり、必要面積が確保できない可能性がある。
3. 事前に候補箇所を選定していないが、必要面積が確保できると考えている。
4. 事前に候補箇所を選定しておらず、必要面積が確保できない可能性がある。

【注】 　で1.あるいは2.に回答した場合、　以降についてもお答え下さい。

　で3.あるいは4.に回答した場合、　以降についてお答え下さい。

応急仮設住宅の建設可能用地の箇所数及び面積

なお、応急仮設住宅建設用地に関する個別リスト(箇所ごとの場所名、面積)があれば添付下さい。

	データ	備考
箇所数	(市区町村合計値) (箇所)	
面積	(市区町村合計値) (m^2)	

*) 「約 m^2 」といった概数の記入でも結構です。

応急仮設住宅の設置場所

応急仮設住宅はどのような場所に設置する予定ですか。該当するものを全て選び、回答欄に を付けて下さい。

	回答欄
1. 避難所に指定されている施設の空きスペース(学校の運動場等)	
2. (広域)避難場所に指定されている空きスペース	
3. 避難所や(広域)避難場所に指定されていない公共の空きスペース(運動公園等)	
4. 住民等所有の土地(農地等)	
5. その他(具体的に:)	

応急仮設住宅の入居者の選定方法

応急仮設住宅の入居者の選定方法について、該当するものを全て選び、回答欄に を付けて下さい。

	回答欄
1. 高齢者のいる世帯を優先	
2. 障害者のいる世帯を優先	
3. 母子世帯を優先	
4. 乳幼児のいる世帯を優先	
5. 妊婦のいる世帯を優先	
6. 18歳未満の子供が3人以上いる世帯を優先	
7. 病弱な人・被災により負傷した人を優先	
8. 避難所に避難している世帯を優先	
9. 世帯収入を考慮	
10. 地域(町内会など)のまとまりを優先	
11. 地域性等について個人の希望を優先した上で競合あれば抽選	
12. 一律に完全抽選(地域性なし)	
13. その他(具体的に:)	
14. 未定	

*) 具体の選定方法・選定順位等の関連資料があればコピーを添付して下さい。

提供戸数

公営住宅等の空き状況や耐震性等を勘案し、実際の災害発生時における現段階でのおおよその提供可能戸数を教えて下さい。(なお、都県営住宅や都市機構住宅については別途把握することとします。)

住宅の種類	戸数	備考
市区町村営住宅 または (市町村の) 住宅供給公社住宅	(市区町村合計値) (戸)	
その他 ()	(市区町村合計値) (戸)	

*) 「約 百戸」といった概数の記入でも結構です。

入居者の選定方法

入居対象となる被災者の入居先の選定方法はどう考えていますか。該当するものを全て選び、回答欄に を付けて下さい。

	回答欄
1. 高齢者のいる世帯を優先	
2. 障害者のいる世帯を優先	
3. 母子世帯を優先	
4. 乳幼児のいる世帯を優先	
5. 妊婦のいる世帯を優先	
6. 18歳未満の子供が3人以上いる世帯を優先	
7. 病弱な人・被災により負傷した人を優先	
8. 避難所に避難している世帯を優先	
9. 世帯収入を考慮	
10. 地域(町内会など)のまとまりを優先	
11. 地域性等について個人の希望を優先した上で競合あれば抽選	
12. 一律に完全抽選(地域性なし)	
13. その他(具体的に:)	
14. 未定	

*) 具体の選定方法・選定順位等の関連資料があればコピーを添付して下さい。

公的住宅の応急住宅としての活用に関する課題等、工夫

震災時の公的住宅(公営住宅、公団・公社住宅等)の応急住宅としての活用にあたり、心配ごとや現状での課題等がございましたら、ご記入下さい。他の市区町村の参考となるよう、何か工夫がございましたら、併せて

民間住宅の応急住宅としての活用に関する課題等、工夫

震災時における民間住宅の応急仮設住宅としての活用にあたり、心配ごとや現状での課題等がございましたら、ご記入下さい。他の市区町村の参考となるよう、何か工夫がございましたら、併せてご記入下さい。

<p>< 課題等 ></p> <p>< 工夫 ></p>

***) 関連資料があればそのコピーも添付して下さい(その際は、設問との対応、出典名を明記して下さい)。**

(9) 応急危険度判定及び応急修理による自宅の継続的活用

応急危険度判定及び応急修理による自宅の継続的活用について、以下の点について教えて下さい。

応急危険度判定の取組み

避難所等への避難者数の増大を避けるためにも、被害が軽微で、応急危険度判定の結果、二次災害の危険性がないと判定され、ライフライン機能もある程度維持されている住まいにおいてはできるだけ住み続けてもらうことが必要となります。この応急危険度判定についてどのような取組みを計画していますか。該当するものを全て選び、回答欄に を付けて下さい。

	回答欄
1. 被害想定等を参考にどれくらいの建築物を判定する必要があるかの需要量をあらかじめ想定している。	
2. 応急危険度判定員の具体的な派遣計画を検討している。	
3. 応急危険度判定に係るマニュアル等を作成している。	
4. 住民に対して応急危険度判定の意味などについて普及啓発するための資料などを作成して配布している。	
5. その他 ()	

応急修理の取組み

応急仮設住宅の過大な需要を避けるためにも、被害の軽微な住まいにおいては応急修理を実施して住み続けてもらうことが必要です。この応急修理についてどのような取組みを計画していますか。該当するものを全て選び、回答欄に を付けて下さい。

	回答欄
1. 被害想定等を参考にどれくらいの応急修理需要があるかをあらかじめ想定している。	
2. 応急修理に係るマニュアル等を作成している。	
3. 住民に対して応急修理制度を積極的に活用してもらうよう、普及啓発のための資料などを作成して準備している。	
4. 地元の工務店などに応急修理のための人材確保を働きかけている。	
5. 応急修理のために木材などの資材を備蓄・準備している。	
6. その他()	

(10) 避難者対策についての意見・要望等

首都直下地震時における避難者対策について意見・要望等がございましたらご記入下さい。

最後に、貴市区町村名、回答部署名等連絡先についてご記入下さい。

都県名	都・県
市区町村名	市・区・町・村
担当者の 部署名	
担当者の 役職名	
担当者名	
電話番号	
FAX 番号	
メール アドレス	

ご協力ありがとうございました。

避難者対策に係る現況把握調査
(都県向け)

以下の点についてご留意の上ご回答下さい。

- ・既存資料で詳細な情報〔具体の協定内容・計画内容など〕が分かるものがあれば、できるだけ添付して下さい。
- ・詳細資料を添付して頂く際には、どの設問に対応する資料かがわかるよう、例えば「1.の に関する資料」と明記して下さい。また、出典(図書名、作成主体、作成日時等)がわかるよう、出典名の明記あるいは資料の表紙の添付等もお願いいたします。

(1) 野外に設置する天幕・テント等の活用

避難所の収容能力が不足する場合や、被災者が避難所へ避難しない場合等において、野外に設置する天幕・テント等の活用について教えて下さい。ここでは、自衛隊の天幕等は含みません。

天幕・テント等の確保に関する協定

天幕・テント等の確保のために、協定を結んでいますか。該当するものを全て選び、回答欄に番号をご記入下さい。また、協定を結んでいる場合には、**代表的な協定の内容及びその具体的な仕組み(被災後における避難者収容までの手順等)が分かる資料のコピーを添付して下さい。**

	回答欄
5. 都県で関連事業者(団体)と協定を結んでいる。	
6. 協定は結んでいないが、関連事業者(団体)と話している。	
7. 協定による調達とは別に、都県で天幕・テント等を備蓄している。	

収容人数

現段階における都県による備蓄や調達により利用可能と思われる天幕・テント等の数量から判断されるおおよその収容人数を教えて下さい。

	データ(人数)	備考
収容可能人数	(人)	(例)1張当たり12人収容可能な天幕・テント等を3,000張調達する協定を県と業者との間で締結済み

*)「約 千人」といった概数の記入でも結構です。

(2) 公的な空き室活用(公営住宅等)

公的住宅(都県営住宅、公社住宅等)の空き室の応急住宅としての活用について、以下の点について教えてください。

提供戸数

都県営住宅等の空き状況や耐震性等を勘案し、実際の災害発生時における現段階でのおおよその提供可能戸数を教えてください。(なお、市区町村営住宅および(市町村の)住宅供給公社住宅については、市区町村に対して別途把握することとします。)

住宅の種類	戸数	備考
都県営住宅 または (都県の) 住宅供給公社住宅	(都県合計値) (戸)	
都市機構住宅	(都県合計値) (戸)	
その他 ()	(都県合計値) (戸)	

*) 市区市町村別の内訳も併せて添付して下さい。

*) 都市機構住宅についても把握していればご記入ください(市区市町村別内訳についても添付して下さい)。

(3) 避難者対策についての意見・要望等

首都直下地震時における避難者対策について意見・要望等がございましたらご記入下さい。

最後に、貴都県名、回答部署名等連絡先についてご記入下さい。

都県名		都・県
担当者の 部署名		
担当者の 役職名		
担当者名		
電話番号		
FAX 番号		
メール アドレス		

ご協力ありがとうございました。